

2022年度科学研究費助成事業採択者一覧(代表者分)

■新規

研究種目	所属	職名	氏名	研究課題名
基礎研究(C)	法学部	准教授	吉良 貴之	行政国家と行政立憲主義の法原理——行政法哲学の基礎構築
基礎研究(C)	法学部	准教授	朴 瑞庚	外国語の音声学習における自己モニタリングの役割に関する研究
基礎研究(C)	法学部	助教	宇野由紀子	高校生の政治教育の内容と制限の変遷についての研究
基礎研究(C)	経済学部	准教授	新居 理有	日本銀行の国債引受行動と日本財政・マクロ経済との相互作用の解明
基礎研究(C)	経済学部	准教授	蓮井 康平	日本のマクロ経済の長期停滞とゼロ金利政策に関するDSGEモデルによる包括的な分析
基礎研究(C)	経営学部	教授	古川 邦之	火道内マグマの脱ガスと黒曜石形成過程の解明：噴火多様性の理解に向けて
基礎研究(C)	経営学部	助教	石井麻瑛絵	19世紀イギリス文学における移動性と多様化する女性の空間
基礎研究(C)	国際コミュニケーション学部	教授	塩山 正純	「女性」の視点による記録とテキストから複眼的に見る近代西洋人の「官話」研究
基礎研究(C)	国際コミュニケーション学部	教授	岩田 晋典	東亜同文書院「大旅行」後期の実態：「大旅行誌」デジタルアーカイブの作成と内容分析
基礎研究(C)	文学部	教授	加藤 潤	イギリスのナショナル・カリキュラムとフリースクール思想の葛藤に関する分析
基礎研究(C)	文学部	教授	土屋 葉	障害女性をめぐる差別構造および差別的状況についての横断的解明
基礎研究(C)	文学部	教授	吉岡 昌子	大学生のメモ取り行動の機能化を促す環境条件の検討
基礎研究(C)	東亜同文書院大学記念センター	名誉教授	藤田 佳久	清末・民国期の中国における「会館」、「公所」の展開と経済地域の再編成

* 挑戦的研究（萌芽）の交付内定発表は、7月の予定。

■継続

研究種目	所属	職名	氏名	研究課題名
基礎研究(B)	国際コミュニケーション学部	教授	小崎 隆	熱帯畑作地における有機物の「質・量」統合的生態系管理による劣化土壌修復技術の創出
基礎研究(B)	文学部	教授	岡本 耕平	南洋地理学の系譜と現代地誌・地域研究への意義
基礎研究(C)	法学部	教授	大川 四郎	第二次世界大戦中の日本軍占領地における赤十字国際委員会代表の活動について
基礎研究(C)	法学部	教授	小林 真紀	終末期関連法における患者の権利保障—ルクセンブルク、ベルギー、フランスの比較
基礎研究(C)	法学部	教授	村瀬 智彦	幼児の体力・運動能力の現状と年次推移把握のための持続可能な資料提供システムの構築
基礎研究(C)	法学部	教授	吉垣 実	確定判決の効力を受ける第三者の救済方法：会社組織関係訴訟における許容再審の許容性
基礎研究(C)	法学部	准教授	上杉めぐみ	消費者法における不招請勧誘禁止の立法化に向けた動議概念の横断的研究
基礎研究(C)	法学部	准教授	岡田健太郎	独立調査委員会制度の比較研究—カナダ・旧英領諸国との比較分析と日本への制度的示唆
基礎研究(C)	経済学部	教授	阿部 武彦	介護者の気づき補完を意識した兆候検知システムによる介護サービスの品質向上
基礎研究(C)	経済学部	教授	田委千弘	親族企業の事業承継の安定性に関する理論と社会資本の影響も考慮した実証：沖縄の事例
基礎研究(C)	経済学部	准教授	新居 理有	世代間の異質性を考慮した財政破綻による政府債務削減がマクロ経済に与える影響の解明
基礎研究(C)	経済学部	准教授	西本 寛	熱分解GC/MSによるラクチオールとトレハロース含浸木材の放射性炭素年代測定
基礎研究(C)	経営学部	教授	一木 毅文	取締役の機能を代替するキャリア指標による取締役会が機能を発揮するメカニズムの解明
基礎研究(C)	経営学部	教授	岩田 真典	災害救助シミュレーションによる動的確率的環境下での多目的分散制御最適化問題の研究
基礎研究(C)	経営学部	教授	太田 幸治	消費者の自己認識欲求が購買時の製品・サービスの価値の予見に与える影響
基礎研究(C)	経営学部	教授	大北 健一	A Study of Coopetition Strategy in the Apparel and Fashion Industry: International Brand Licensing
基礎研究(C)	現代中国学部	教授	土橋 喜	授業のエンゲージメントの可視化と学習ログのリアルタイムプロセスマッピングの研究
基礎研究(C)	現代中国学部	教授	土橋 喜	LMSを活用した学習分析と授業実践を支援するためのプロセスマッピングの研究
基礎研究(C)	国際コミュニケーション学部	教授	加納 寛	戦時期タイにおける日本の重伝機関の進出と活動：タイ・日・英語史料からのアプローチ
基礎研究(C)	国際コミュニケーション学部	教授	塩山 正純	表現媒体としての問答テキストの系譜から見る近代西洋人の官話研究
基礎研究(C)	国際コミュニケーション学部	准教授	高村めぐみ	日本語教師の母方言を生かした「機能表現指導の指標」
基礎研究(C)	国際コミュニケーション学部	教授	田森 雅一	南アジアにおける女性芸能者の特質とスティグマに関する文化人類学的研究
基礎研究(C)	文学部	教授	井藤 寛志	無意識的な模倣が生じるメカニズムの解明—行動指標と近赤外分光法による検討—
基礎研究(C)	文学部	教授	小野 賢一	中世盛期の西南フランスにみる列聖の国制的意義
基礎研究(C)	文学部	教授	加藤 潤	リカレント教育の抑制要因に関する文化的・制度的分析
基礎研究(C)	文学部	教授	土屋 葉	障害女性をめぐる差別構造への「交差性」概念を用いたアプローチ
基礎研究(C)	文学部	教授	平高 史也	第2言語としてのドイツ語教育—移民の子どもに対する日本語教育への応用を目指して—
基礎研究(C)	文学部	教授	吉岡 昌子	大学生を対象としたノートテイク支援システムの開発
基礎研究(C)	文学部	准教授	安達 悠子	組織・集団・個人レベルの諸要因が組織学習に及ぼす影響
基礎研究(C)	文学部	准教授	加島 大輔	地方の能動性と教員層の移動を軸とした近代日本の教員養成の実態に関する研究
基礎研究(C)	文学部	准教授	田藤 裕祐	初期キャリアにおける職業的地位および労働条件と労働観の双方向的な作用の解明
基礎研究(C)	文学部	准教授	湯川やよい	「社会の中で生きる非触法ペドファイル」の実証的研究：当事者のナラティブに注目して
基礎研究(C)	地域政策学部	教授	後 勇雄	冷戦終結後における日本とイタリアの政治変動の比較研究—「脱冷戦」の視点から
基礎研究(C)	地域政策学部	教授	鈴木 臣	大気光イメージング観測による大気重力波構造からの風速決定
基礎研究(C)	地域政策学部	教授	駒木伸比古	人口減少時代における人口集約型都市に向けた「線引き」に関する地理学的研究
基礎研究(C)	地域政策学部	教授	潮川 治敏	可搬型2次元衝撃試験機による各種スポーツサーフェスの動特性評価法の開発
基礎研究(C)	地域政策学部	准教授	山口 治子	リスク情報とベネフィット情報の提供による消費者の情報ニーズの変容に関する研究
基礎研究(C)	法務研究科	教授	上田 純子	カスタディ・チェーンを通じた重層的株式保有を巡る法律問題の多面的研究
基礎研究(C)	法務研究科	教授	上田 純子	カスタディ・チェーン保有株式に伴う法的リスク評価およびフィンテックの効果分析
基礎研究(C)	短期大学部	教授	杉本 貴代	乳幼児期の社会相互作用と認知発達に関する縦断研究—脱文脈化発話の効用を探る—
基礎研究(C)	短期大学部	教授	杉本 貴代	レキシコンと言語処理の生涯発達における普遍性と多様性—連濁処理を中心に—
基礎研究(C)	人文社会学研究所	名誉教授	伊東 利勝	縁起と歴史のあいだ—エアーワディー流域前近代社会の地方史について—
基礎研究(C)	東亜同文書院大学記念センター	研究員	石田 卓生	戦前と戦後を「断絶」から「連続」としてとらえ直す日本の中国語教育史の新たな研究
基礎研究(C)	地域政策学センター	研究員	佐藤 眞久	教科・科目を横断した学生の共通学習特性の研究：ビッグデータ解析による実証的検証
国際共同研究(加達基金 国際共同研究強化(B))	国際コミュニケーション学部	教授	小崎 隆	不耕起農法はアジアにおいても土壌炭素貯留機能を高めるのか？
挑戦的研究(萌芽)	文学部	准教授	湯川やよい	非触法ペドファイル(小児性愛者)の社会的な研究：承認論の境界を問いただす
若手研究(B)	経営学部	准教授	古川 千歳	小規模企業の海外展開における地域連携プロジェクトの実証研究
若手研究(B)	国際コミュニケーション学部	准教授	吉本 篤子	ハイブリッド・ウォルガストの読書教育思想とドイツ児童書運動の歴史的研究
若手研究(B)	文学部	准教授	安達 悠子	記憶錯誤に起因する不安全行動とその抑制に向けた安全対策の探究
若手研究	経済学部	助教	松坂 雅子	前工業化時代のデザインの分析—18世紀自然主義様式のイギリス絹織物を中心に
若手研究	経営学部	准教授	山田 浩喜	ベイズモデリングによる小売業顧客維持戦略の新展開
若手研究	経営学部	助教	地村みゆき	20世紀初頭の米国社会における先住民女性の政治力
若手研究	現代中国学部	准教授	小川 典子	継承中国語学習者のアイデンティティと言語能力の縦断的研究：大学外国語教育への提言
若手研究	国際コミュニケーション学部	准教授	川上 ゆか	共通言語としての日本語を使った「複」接点場面のマルチモダリティ分析